

marie claire

marieclairejapon.com

27th February, 2025
No.194



Women
We Love

女性たちのパワーは無限大

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.194

フランスを代表するテノール歌手、バンジャマン・ベルナインのコンサートを聴く機会がありました。彼の柔らかく、どこまで伸びるのだろうかと思わせる声と、上品で格調高い歌い方は、まさに現代の最高峰と言えるテノールでした。東京文化会館を埋めた満員の聴衆は、スタンディングオベーションでこの傑出した39歳のテノール歌手をたたえました。

彼はパリ・オペラ座、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラといった世界有数の歌劇場に定期的に出演しています。特に様々なフランス音楽を得意とし、いま世界で最も注目を集めるスターテノールでもあります。

「2024年パリ・オリンピック」の閉会式では「アポロ賛歌」を歌い、その姿は世界中に放映されました。また昨年12月のノートルダム大聖堂再開記念式典では、参列した世界のVIPの前で、シューベルトの「アヴェ・マリア」を歌いました。

東京でのコンサートのスケジュールの合間に、銀座並木通りのLE CAFE V(ル・カフェ・ヴィー)で彼の友人を招いたインティメットなお茶会があり、私もそこに招かれ、その後のインタビューでは、フランスのオペラ界やオペラを取り巻く状況、そして彼のオペラ歌手としてのこれからについて聞くことができました。少し長くなりますが、彼の言葉を再現してみたいと思います。

「オペラというどうしてもイタリアやオーストリア、ロシアをイメージしてしまうのですが、フランス人の僕は、かなり若い時からオペラ歌手を目指していました。早い段階でローザヌやザルツブルクなどの舞台でイタリア・オペラやロシア・オペラを歌う機会がありました。でもフランス・オペラはトップスターにしか歌うことができないので、僕はずっとその機会を待っていました」

——なぜ、トップスターにしか歌えないのですか？ 音楽として難しいのですか？

「もちろんそれもありますが、フランスではフランス音楽のオペラチケットはなかなか売れない、トップスターが出演するフランス・オペラしか劇場を満杯にできないという状況があったのです。そんな中で、僕は少しずつフランス・オペラを歌い始め、その結果、「バンジャマンだったらフランス・オペラを任せられる」という評価を得、今ではいろいろな都市からフランス・オペラを持ってきてほしいと頼まれるようになりました」

——音楽としての難しさという部分をもう少し説明していただけますか？

「フランス語は音楽に最も向かない言語ともいわれ、フランス語のオペラは非常に難しく、しっかり歌える人がとても少ないのです。またフランス・オペラはイタリア・オペラと比べるとかなり文学的であり哲学的な意味もあり、それをどう訳すか、どう伝えるかが大事になります。フランス人として、フランス文化を愛し、フランス語で歌うことが好きな僕は、そのことが自身の使命であり責任であり、文化の伝承であるという思いを抱きながら、世界中で歌うことを大切にしています」

——オペラ座に行くのは世界最高峰のアスリートを見に行くのと同様だと思ってしまうのですが、これはどういう意味でしょう。

「オペラというのはフランス文化にとって、外のコミュニティに触れるということです。なぜならオペラを聞きに行くという行為は、きちんと着飾って、その場所に足を運ばなければならないという社会的な行為であり、現在、やっとなんかそこに喜びを見出す傾向になりつつあるのではないかと思います。」

オペラ座は歴史的にソーシャルな場所として位置づけられていました。しかしここ30年程はその習慣がフランス人から失われつつありました。その背景には、社会的な環境も変わり、人々が着飾らなくなったということがありました。しかしコロナ禍を経て、お洒落をして外出する特別な機会、何か好きなもの、興味あるものを探し求めに行くという、ある意味、旅する感覚がまた芽生えてきたのだと思います。

もちろんオペラ鑑賞は高額ですから、どうしてもエリート層に客層が偏ってしまうと思われがちですが、オペラ座というのは元々、誰もが行ける場所としてつくられたものです。観客席にもいろいろなクラスの席があり、各層に対してオペラは開かれているのです。星付きレストランのディナーは難しいけれど、ランチなら楽しめるかもしれないという考え方でいいですね。つまり、オペラ座でどの席に座るかというのは個人的な金銭感覚や価値観によるものなのです。

今、ヨーロッパではどのオペラ座も掲げているのが「Opera for Everyone」(オペラをみんなに)という動きです。ヨーロッパの文化であるオペラを守っていくという動きです。これから20代、30代といった若い世代や、オペラはハードルが高いと思っている人たち、好奇心はあるが行ったことはないという人たちをどう引き寄せるか、ということを考えています。例えばベルリンのオペラ座の前では大きなスクリーンでオペラを生中継して、無料で開放しているのです」

またバンジャマンは最近「Douce France」という19世紀フランスのロマン派を代表する3人の作曲家の曲と20世紀を代表するシャンソンとのCDを出しています。その中から「枯葉」を含めてシャンソンを数曲コンサートの最後に歌いました。イヴ・モンタンの歌い方とかではなく、彼自身の歌い方で。それはもちろん音楽をもっとアクセシブルなものという狙いもあるのですが、フランス語の歌詞が理由だと言います。

「フランス語には、非常に美しく、誰が聞いてもわかる文章、誰にでも響く文章というものがある。それをきちんと伝えること。フランス語の美しさを大事にしていきたい。オペラだろうがシャンソンだろうが、最高峰の音楽というものを届けたい、知ってもらいたいという目標があるのです。フランス文化には建築や料理、絵画やファッションといった世界で最高峰のものがいくつもありません。それと同様にいかにフランスの歌、音楽のすばらしさを伝えていくかというのが私にとってチャレンジであり、目標なのです」

若きテノール歌手の世界を見つめる視線を感じていただけたらだろうか。歌が非常に上手いだけではない、歴史や文化を背負っていまを生きる人間の誇りを、私は彼から受け取った気がします。

2025年2月27日


田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長

© Evgenii Evliukhov & Lucien Grandjean - Verbier Festival



品の良い独特の歌唱スタイルがバンジャマン・ベルナインの特徴

Benjamin Bernheim @Paris Olympics 2024 PA Media - Alamy



「2024年パリ・オリンピック」閉会式で「アポロ賛歌」を歌うバンジャマン・ベルナイン

Contents

- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story: Tao Tsuchiya /
- 9 Arty Fact /
- 10 Style Picks: Long Trench Coat /
- 11 Style Picks: Boston Bag /
- 12 DELVAUX /
- 14 International Women's Day /
- 18 Travel: Beauty Journey /
- 19 NORTHERN TERRITORY, CLUB TOURISM /
- 20 Travel: Beauty Journey /
- 21 Travel: HOSHINOYA Taketomi Island /
- 22 Beauty: Spring Skincare Guide /
- 23 Beauty: Personalized Beauty /
- 24 Tokyo Creative Salon 2025 /
- 26 News /
- 27 News, shop list

cover

photo: TAKAY
styling: Daisuke Fujimoto
hair: KENSHIN(Epo Labo)
make-up: Asami Taguchi(Home Agency)
realization: Satoko Hatakeyama
dress, pants, earring: GIORGIO ARMANI

marie claire

2025年2月27日発行 第14巻 第2号(通巻194号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
齊賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
高波麻奈美 Manami Takanami
マルチン・バル ホスツェツェグ
Malchinbayer Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 肇 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-3216-8815

THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre

Deputy director:
Félix Droissart

Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell

International editorial director:
Séverine Harzo

International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic

International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontailles

International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier

Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2025
©THE YOMIURI SHIMBUN 2025
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本誌に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。



Tao Tsuchiya

節目の年、想いを発信し続ける土屋太鳳 “今”を未来に繋いでいきたい

Cover Story

photos: TAKAY
styling: Daisuke Fujimoto
hair: KENSHIN (Epo Labo)
make-up: Asami Taguchi (Home Agency)
realization: Satoko Hatakeyama

2008年に映画『トウキョウソナタ』でデビュー。凜としたまなざしと気品で無二のオーラを放ちながら、話題作に次々と出演。俳優として着実にキャリアを重ね、輝きを増す土屋太鳳の姿は、見る者に鮮烈な印象を残す。そして、出世作の舞台となった被災地へ心を寄せ、自身のSNSに綴られる平和と安寧を願う想いもまた、ひたむきな言の葉となり、我々の心を照らす。



「よろしくおねがいします」と穏やかに挨拶を交わしながら撮影スタジオに現れた土屋太鳳。その佇まいは、テレビやスクリーンで見るよりもはるかに小柄で華奢でありながらも、目を奪われるような繊細さを纏っていた。ヘアとメイクを仕上げ、「ジョルジオ アルマーニ」の最新作を着用した姿でカメラの前に立った瞬間、その場の空気は一変。まるで舞台の幕が上がったかのような圧倒的な存在感と瑞々しい迫力に、思わず目を見張った。

「デビューからこれまで、ずっと綱渡りのように日々を繋いできた感があります。いただいた役を懸命に演じつつも、自分を必要とってくれる作品が次もあるか常に不安で、危機感は今でもあります。ただ最近、そういう緊張感もお芝居をしていくうえでは大事なことだと感じています。緊迫感やプレッシャーは、長い人生の中では誰しもが体験するもの。演じながらそんな感覚と付き合ってきたことで、少しは成長できたかなと思っています」

デビュー後は、雑誌のモデルなども経験しながら、数々のオーディションで魅力的な役を獲得。なかでも、19歳の時に抜擢されたNHK連続テレビ小説『花子とアン』でのヒロインの妹役、さらに2020人の中から選ばれた翌年放送の同『まれ』でのヒロイン役は、自身の中でもターニングポイントとなった作品だと振り返る。そして、2024年秋に放映され話題となったTBSテレビ日曜劇場『海に眠るダイヤモンド』での百合子役は、近年演じた中でもひときわ印象深かったと語る。

『花子とアン』では多くの方から声をかけていただけるようになり、『まれ』ではやっと土屋太鳳という名前に読み仮名をつけなくて大丈夫になりました。『海に眠るダイヤモンド』は、最初にお声がけいただいた時は、百合子という役をお断りしようと思っていたんです。彼女が背負うものが私には大きすぎるような気がして……。でも、世界で起きている様々な出来事や、『まれ』の舞台である能登の震災に接することで、命に対する思いや家族への愛情、人と繋がることの大切さが身にしみて。そんな感情を役で表現でき

ればいいなと思い、お受けしようと決めました。今では、20代最後の年に百合子という役を演じられて良かったと、心から満足しています」

現在、Instagramフォロワー数289万人を誇る彼女のSNSには、オフショットや新作の告知などとともに、社会の話題などが数多く盛り込まれ、災害への備えや平和への願いなどもストレートに綴られる。そこには未来へバトンを繋ぎたいと願う、彼女なりの姿勢が垣間見える。

「今の社会で起きていることを知るとは、とても大事だと思っています。なぜなら、“今”をきちんと未来に繋いでいくことが、現代を生きる私たちの責任だと思うからです。どれだけ自分のしたいことができて、幸せな空気を吸えているか。私が演じるのは生身の人間の姿だからこそ、日々の出来事からインプットしながら、多彩な表現に繋げていければいいなと」

その繊細な表現力は今回のファッション撮影でも発揮された。昨年、ミラノとパリで「ジョルジオ アルマーニ」と「ジョルジオ アルマーニ プリヴェ」のショーを観た感動をもとに、デザイナーの生き方にまで丁寧な思いを巡らせる。

「優しいピンクが好きなので、今日着用した衣装の素材とともに、柔らかな気持ちになれました。アルマーニさんが手がける服はタイムレスでエレガント。ご本人の人生が細部にまで表現されているかのような気がしました」

30歳という節目の今年。ライフステージの変化がありつつも、周りの協力を仰ぎながら仕事と両立していきたいと語る。5月には人間の普遍的なテーマを描く『マクベス』で、マクベス夫人を舞台上で演じる。彼女が未来へと繋ぐひたむきな情熱は、これからも続いてゆく。

P6-7

ニューヨークで発表された「ジョルジオ アルマーニ」2025春夏コレクションは「旅路」がテーマ。世界の美しい風景を融合させた、ピュアでエフォートレスなエレガンスを叙情的に表現。ジャケット¥814,000 パンツ¥264,000 イヤリング【参考商品】 サッシュベルト【参考色】¥275,000 インナー【参考商品】(すべてジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

COVER

ドレス¥583,000 パンツ¥264,000 イヤリング¥81,400(すべてジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)



Arty Fact 日常をアートに変える バッグ&シューズ

photos: Pelle Lannefors
fashion direction: Florence Deladrière
fashion assistants: Alice Peralta, Charlotte Wagner
photo assistant: Yvoni Itskou
digital assistant: Julia Dansarie
production: Corinne Piton
location: Artefact

スタイルを格上げし、カンパゼーション・ピースになるトップブランドの最新バッグ&シューズ。
まるでアートを纏うように、装いに特別なオーラを添える。



Hermès

美しいフォルムと歩きやすさを兼備したポイントトゥのバレエシューズ。アイコン的なバックルと鮮やかなカラーが目を奪う。
シューズ「ケリー」 [H11cm] ¥240,900 (エルメス/エルメスジャパン)



Louis Vuitton

今季のランウェイに登場したシンボリックな一点。メゾンの歴史とモダニティを物語る。バッグ「LV バイカー MM」 [W38 × H15 × D15cm] ¥715,000 [予定価格] (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)



Prada

台形フォルムが印象的なトップハンドルバッグ。クラシカルな趣きの中に現代的なエレガンスが宿る。バッグ「プラダ エチュード」
[W31 × H28 × D5cm] ¥561,000 [予定価格] (プラダ/プラダ クライアントサービス)



Saint Laurent

一見シンプルなポイントトゥシューズが、透明のウェッジヒールでドラマティックに。シューズ「MILLER」 [H11cm] ¥253,000
[参考価格] (サンローラン バイ アンソニー・ヴェカレロ/サンローラン クライアントサービス)

蟹座 Cancer 6月22日~7月22日 ★ムードメーカー的な一面が印象的に残りやすい時期なのでお家を親しい仲間内だけで過ごす時間は控えめに！過去からの縁も再熟しやすい。忘れられない人にコンタクトを！



1



2



3



7



4



6



8



5

Boston Bag

レディなボストンバッグを春の主役に

Style Picks

realization: Miyuki Kikuchi

クラシカルなムード漂う「ボストンバッグ」が今、itバッグとして人気急上昇。アクセサリ感覚で楽しめるスーパーミニサイズからジェンダーレスで使えるビッグサイズまで、今手にしたい最新作をラインナップ！

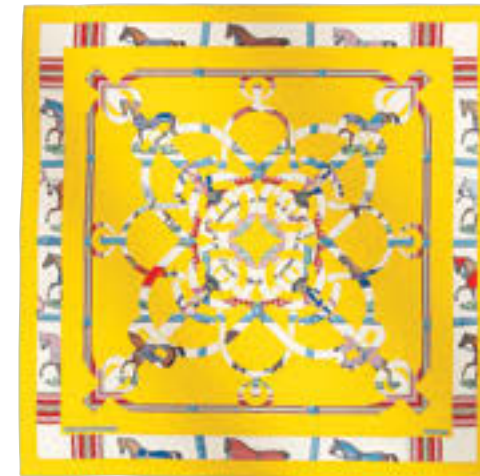
1. Louis Vuitton 「ルイ・ヴィトン × 村上隆」リエディション・コレクションに登場したミニチュアサイズのボストン。アクセサリ感覚で取り入れたい。バッグ「ナノ・スピーディ」 [W16×H10×D7.5cm] ¥370,700 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) 2. Prada サステナブルな素材の「Re-Nylon」を使用しトップハンドルにレザーを使用。春のコーデにぴったりなグリーンカラーが印象的。バッグ [W29×H12.5×D10cm] ¥390,500 (プラダ/プラダ クライアントサービス) 3. Dior マルチポケットがあらゆる機能性を兼ね備える万能バッグが登場。ジップ部分の「Christian Dior」シグネチャーがアクセントに。バッグ [W41×H25×D12cm] ¥920,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) 4. Gucci 人気の「オフィディア」シリーズから登場した、軽やかな春コーデに取り入れたいミニサイズのボストンバッグ。バッグ「オフィディア スーパーミニ」バッグ [W16.5×H10×D9cm] ¥217,800 (グッチ/グッチ クライアントサービス) 5. Max Mara ワックス仕上げのソフトカーフレザーで仕立てられたクラシカルなボストンバッグ。フォルムを際立たせるミニマルなデザインと抜群の収納力が魅力的。バッグ「ホールドオールポケット」 [W17.5×H10×D9cm] ¥270,600 (マックスマラ/マックスマラ ジャパン) 6. Delvaux タイムレスなクラシックバッグはジェンダーレスな表情が魅力。滑らかなドリームカーフレザーを使用した逸品は週末トリップのお供にも。バッグ「L'XXL」 [W45×H31×D22cm] ¥1,641,200 (デルヴォー) 7. Fendi 鮮やかなオレンジカラーが目目をひくミニサイズのバッグ。1925年以来、職人に受け継がれてきた「セレリア」ステッチにクラフトマンシップを感じる。バッグ「バイ ザ ウェイ セレリア ミニ」 [W20×H12×D9cm] ¥281,600 (フェンディ/フェンディ ジャパン) 8. Miu Miu ブラックにコントラストの利いたホワイトのバイビングとハンドルで、アイコンバッグがよりスポーティ&モードに進化。バッグ「ボレーザ」 [W30×H17×8.5cm] ¥495,000 [予定価格] (ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス)

marieclairejapon.com

2

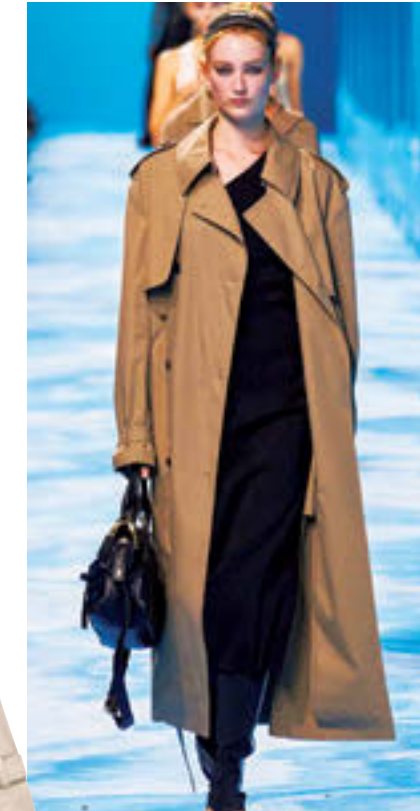


© Hermès



3

Dior 2025年春夏 コレクションは女性をエンパワーメントするルックが多く登場。エフォートレスなトレンチコートは、オーバーサイズシルエットながらエレガントかつ、女性のタフさを表現。コート¥700,000、ドレス¥450,000、ヘアバンド¥66,000、バッグ [W41×H25×D12cm] ¥920,000、靴 [H1cm] ¥219,000 (すべてディオール/クリスチャン ディオール)



Max Mara ビュアリネンにコーティングを施した、ダブルブレストのロングトレンチコート。ボリューム感がありながらシルエットを美しく見せてくれる。コート¥433,400、ブラ¥66,000 [参考価格]、シューズ¥66,000 [参考価格]、シューズ [H2cm] ¥147,400 (すべてマックスマラ/マックスマラ ジャパン)



1



4



5



6

Long Trench Coat

エレガントに着こなすロングトレンチが旬

Style Picks

realization: Miyuki Kikuchi

定番アイテムのトレンチコートがこの春トレンドにカムバック！今季注目は、ロング丈や床までのマキシ丈。モードに進化を遂げたトレンチとスタイリッシュな小物で春の最旬スタイルを完成させて。

1. Saint Laurent 裏地に贅沢にシルク生地を使用したロングトレンチコート。エレガントな着こなしはもちろん、ボタンを外しサッと羽織る着崩したスタイルも◎。コート¥661,100 (サンローラン バイ アンソニー ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス) 2. Jil Sander 大ぶりなライトブルーとクリアのクリスタルがモダンな華やかさを添えてくれる。ネックレス¥487,300 (ジル サンダー バイ ルーシー アンド ルーク・メイヤー/ジルサンダー ジャパン) 3. Hermès 上質なカシミア&シルクを使用したスカーフは、軽やかで柔らかな手触りにうっとり。春らしいイエローカラーをコーデの主役に。ストール「エプロンドール&馬着」 [140×140cm] ¥234,300 (エルメス/エルメス ジャパン) 4. Miu Miu デニムキャップにブラックビジュをONした遊び心のあるアイテムは、旬のトレンチをグッとモードに魅せてくれる。帽子¥209,000 [予定価格] (ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス) 5. Jimmy Choo アイコニックな「ドロップヒール」のパンパス「スカーレット」。花柄のジャカードがコートスタイルの足を春らしく演出。靴 [H5cm] ¥154,000 [3/5~1/8の期間、ジェイアール名古屋タカシマヤ店先行発売] (ジミー チュウ) 6. Bottega Veneta キュートなウサギの頭の形を再現したバックルがアイコンック。コートの共布ベルトの代わりにアクセントとして利かせるなど、活躍間違いなし。ベルト「Bunny」¥105,600 (ボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン)

双子座 Gemini 5月21日~6月21日 ★心の距離に関係なく同じ価値観を持つ同志との幅広いコンタクトが幸運を運ぶ。承認欲求や停滞を感じる時は一人で溜め込まず、仲間や友達にフランクに相談することが解決の糸口。

DELVAUX

シュルレアリスムの巨匠に捧げる芸術的なバッグ 「デルヴォー」の 「マグリット コレクション」最新作

ベルギー王室御用達で世界最古のラグジュアリーレザーグッズメゾン、「デルヴォー」。このほど、メゾンと同じく、ベルギーで生まれたシュルレアリスムを代表する偉大なアーティスト、ルネ・マグリットにオマージュを捧げたカプセルコレクションを発表した。ハンドテクニクを駆使したアーティスティックな逸品は、見るものを虜にし、唯一無二の存在感を放つ。

photos: Toshimasa Ohara (asora)
text: Tomoko Kawakami



メゾンのアイコンが アートピースに昇華

(左) マグリットの大きな木を題材にした作品「9月16日」へのオマージュ。しなやかで軽やか、そして機能的な人気のバッグ「バン」に、ガラスビーズの緻密な刺繍で幻想的な木と月を表現。バッグ「バン ミニ バケツル セーズ セブタンブル」 [W20×H20.5×D10.5cm] ¥1,381,600 (右) 1967年に誕生したメゾンを代表するバッグ「タンペート」。その端正な佇まいにマグリットの代表作を刺繍。地上の雲の上に雨が降るという不思議な光景をガラスビーズによるディテールでボエティックに描いた。バッグ「タンペート スモール シェントドゥローラージュ」 [W18.5×H16×D5cm] ¥1,378,300 (ともにデルヴォー)

独創的なフォルムを描く ハンドルがシンボリック

1958年のブリュッセル万国博覧会のために作られた「プリヨン」はメゾンのアイコン。今回、マグリットが描くシュルレアリスムの絵画を着想源にツイストした動きのあるデザインが誕生。特徴的な波型ハンドルには、熟練の職人が幾度となく試作を重ねて完成させた。メゾンの創造性が凝縮している。バッグ「プリヨン ミニ ウェイバー」 [W20×H16×D11.5cm] ¥1,145,100 (デルヴォー)



ベルギーが誇る 世界最古のレザーグッズメゾン

1829年にベルギー・ブリュッセルで誕生した「デルヴォー」は、世界初の女性用ハンドバッグを考案した先駆的なブランド。1883年から現在までベルギー王室御用達のラグジュアリーレザーグッズメゾンとして、妥協のない職人技を駆使した製品を作り続けている。また、ウィットに富んだオリジナリティ溢れるデザインを語る上で欠かせないのがシュルレアリスムの精神。中でも、ベルギーを代表する20世紀美術の巨匠でシュルレアリスムムーブメントの中心にいたルネ・マグリットとメゾンの結び付きは強い。「デルヴォー」は、100周年を迎えたシュルレアリスム運動を讃えて、昨年从今年1月までパリのボンビドゥーセンターで開催されていた展覧会の公式パートナーも務めた。会期中にパリで開催されたプレゼンテーションで、マグリットの作品を再解釈した新たなカプセルコレクションも発表し、注目を集めた。

International Women's Day

開拓者たちの肖像

3月8日は「国際女性デー」。1975年に国連によって制定され、各国でジェンダー平等や女性のエンパワーメントについて話し合う機会になっている。この50年の間に、働く環境をはじめ、女性を取り巻く状況は変化してきた。その過程には、活躍の場を自ら切り開いてきた人たちの足跡がある。2025年の今、女性が少ない世界で奮闘する4人の生き方に迫った。

text: Saya Tsukahara

バイク業界を「女性初」で走り続けて ●川崎重工業 コーポレートコミュニケーション総括部特別主席 桐野英子さん



撮影: 西田香織

「働く環境はものすごく変化してきたという実感があります。会社の制度も人々の意識が変わりました」
そう語るのは、現在、川崎重工業でグローバル戦略を担う桐野英子さんだ。「漢のカワサキ」と呼ばれるカワサキモーターズジャパンで2021年から24年まで代表取締役を務めた。バイク業界で女性がトップに就いたのは初めて。来た道を辿れば、海外に駐在した時も、管理職に就いた時も、いつも「女性第一号」だった。

「男女雇用機会均等法が施行されたのは1986年で、私が入社したのは91年。川崎重工業が正式に女性総合職を採用するようになって、2日目でした」
北海道に生まれ、専業主婦の母親に厳しく育てられた。上京の許可を得るため、「北海道では勉強できないものを」と知恵を絞り、東京外国語大学に進学してベルシャ語を専攻。大学時代に旅したトルコで、日本企業がボスボラス海峡に架けた橋を見る。日本の技術力で新興国

「仕事で大切にしていることは、対価に見合った成果を出すこと。給料をもらう方法には3つあると思います。時間、頭、体力、どれを使うか。その時々々の環境や状況により、何を使うべきか考えます」
役職が上がると、マネジメントする立場になって意識したことがある。
「声をかけられた時に絶対ムソッとならない。どんなに忙しい時も、こやかに話を聞くようにしています。それから、怒らないこと。頭に来た時にはいきなり伝えず、コ

桐野英子 Eiko Kirino
1991年4月、川崎重工業(KHI)入社。2001年に仏販売会社のカワサキモーターズヨーロッパ(KME)フランス支店へ転出。09年からKHI汎用機カンパニー営業本部や技術本部を経て、18年、KHIモーターサイクル&エンジンカンパニーマーケティング部の部長に就任。21年10月、カワサキモーターズジャパン(KMJ)代表取締役役に就任。24年7月、KHIコーポレートコミュニケーション総括部で特別主席としてグローバル戦略を担当するほか、カワサキモーターズでも企画に携わる。



自ら企画したNinja ZX-25Rのレース「Ninja Team Green Cup」に出場するための練習(写真提供: 川崎重工業)

いつもまっすぐ、媚びずに落語を ●落語家 桂二葉さん



撮影: 西田香織

2021年、若手落語家の登竜門「NHK新人落語大賞」で古典「天狗さし」を演じると、審査員が全員満点をつけた。50年近い歴史のあるこの賞で、女性が優勝するのは初めて。桂二葉が記者会見で「ジジイども、見たか」と口にしたところ、これが耳目を集め、『ニューヨーク・タイムズ』にも取り上げられた。
「散々『女には無理』と言われてきたので、ずっと言うたろと思ってました。勝ってからやと、説得力が違いますからね。『女流』って言葉は嫌いやねん。『二流』って言われているような気がして。もう、女性がやるのは難しいとは言わさへんで、ほんま」
子どもの頃は内気な性格で、あまり喋らなかったという。なぜ落語家になったのだろうか。
「勉強が全くできなくて、クラスの誰よりもあほな自信があったんです。男の子ならそれを笑いにできるけど、女の子はなんとなく『あほと距離があるな』思った。自分も堂々と廊下を走ってぶざけたのには、それができひんかった。そういう気持ちを大学生まで引きずってモヤモヤしとったんです」

ある日、テレビで笑福亭鶴瓶に惹かれたのをきっかけに落語会へ足を運ぶ。「『これやー!』と思いました。堂々と一人で喋って、あほな顔したりあほなことを言ったりしているのがすごい魅力的だった」
それから大阪の落語家を片っ端から観るうち、女性がやる難しさにも気づく。「やっぱり女性はあほと距離があった。無理してはるなと。でも、私やったらいけるだろうと思ったんです。あほだから、ほんまの気持ちでやれる」
大学卒業後はスーパーマーケットに就職してお金を貯め、桂米二に弟子入り志願する。
「『女の子はとらへん』って最初にきっぱり言われました。2回目はスーツを着て、履歴書を持って行って。それでもあかん、と。3回目で話を聞いてもらえました」
以降3年間、1日の休みもなく修業の日々を送った。
「上達めめちゃくちゃ遅かった。15分の話を感じるのに半年かかりました。くやしくて毎日泣いて。師匠は怒鳴りながらも優しいんですよ。その優しさにグツときて、稽古中に泣く」

師匠からは兄弟子と同じように厳しく育てられた。しかし一歩外へ出ると、冷ややかな視線を浴びることは日常茶飯事。「女だから」という理由で出してもらえない寄席もあった。
「『女にはどうせできんやろ』と言われると、『ありがと、ガソリンくれて』とエネルギーに変えていました(笑)。400年近く続く落語の歴史があって、男がやるもんだと思うから、違和感があるんじゃないかと思えます。高座に出ていくと、お客さんもまず『女だ』ってなるんですよ。でも、男とか女とか関係ないと思えるところまで持っていこうと」
落語界では女性も男物の着物で高座に上がることが多いが、二葉は修業時代からいつも女物だ。
「自分に似合うか似合わないかだけ。骨格的に、どう考えても男物は似合わないのですね」
「嘘がない」ことを大事にしている。
「いかに自然に喋るか。自分のお腹から声を出すか。男をやる時に、無闇に声を低くする必要もない。優しい人、いけずな人、知ったかぶりの人、落語にはいろんな人が出てくる。それぞれ一人の人間として解釈するんです。子どもをやる

からといってまるつきり子どもになりきるんじゃない、その印象をつける」
古典落語に出てくる言葉が自身にとって腑に落ちない時は、アレンジもする。
「『あんさんを男と見込んでお願いします』とか、別に男じゃなくてもいいんちゃうかな、と。『嫁』も名前に変えています。当時の風情や匂いは残しておきたいけど、私自身が喋る時に『ここでこれを言わせたくない』と引かかったら、その言葉は使いません」
落語への揺るぎない愛のもと、今は日々、地道に持ちネタを増やしている。
「いつもまっすぐ、媚びずに落語をする。落語って楽しいし、平和やし、まっすぐやれば絶対よさをわかってもらえる。もちろん死ぬまでやる気です。点滴を引きずりながら舞台に出てきても、笑ってもらえる人でいたい」

桂二葉 Niyo Katsura
1986年、大阪府生まれ。2011年、桂米二に弟子入り。同年9月に初舞台。18年、「上方落語若手噺家グランプリ」決勝に初出場。21年、「NHK新人落語大賞」で優勝。ABCテレビのバラエティ番組「探偵ナイトスクープ」に出演中。著書に「桂二葉本」がある。25年1月から大阪・天満天神繁昌亭で、自身がプロデュースする興行「深夜寄席」をスタート。



取材の日は蛙の手拭いだった(撮影: 西田香織)



高座で(写真提供: ステッカー)

レフリーとして強く美しくありたい ●日本ラグビーフットボール協会公認レフリー 桑井亜乃さん



撮影: 西田香織

れで、また憧れの五輪を目指しました」
元選手だからルールは理解しているが、レフリーにしかわからない細かいルールや感覚があるという。それらを学びつつ、日本代表候補などの練習や試合で場数を踏んだ。
五輪のレフリーを決めるのは、国際競技連盟のワールドラグビー。選ばれるには、海外の大会で自分の存在をアピールする必要がある。フィジーに語学留学後、自身で伝手を探して交渉し、イギリスの大会で笛を吹いた。そして世界で11人しかいない女子大会のレフリーの座を勝ち取る。
「パリ五輪では女子の試合のレフリーでしたが、普段は男女両方の試合を担当します。女子のほうがミスなく継続して、体力的につきついてもあるんです」
五輪から帰ってきて、すぐにリーグワンを見据えた。
「近年、海外では男子のプロリーグで女

性が主審を務めるケースが増えてきていますが、日本はそうではありませんでした。私自身が、日本の現状を変えたいと思ったのです」
リーグワンで主審を務め、今はさらなるステップアップを思い描く。レフリーに必要なものは何かと尋ねると、こう答えた。
「グラウンドに入った時の存在感だと思います。私はみなさんと同じぐらい努力をしてきました。今日は一緒に走り、ゲームをコントロールします」と。グラウンドの上では強く美しくありたいですね」

2024年夏、パリ五輪の7人制ラグビー女子のプール戦・順位決定戦でレフリーを務めた桑井亜乃。選手とレフリー、両方の立場で五輪に参加したのは、ラグビー界で世界初だ。そして同年12月、今度はジャパンラグビーリーグワンで、女性で初めて主審デビューを果たした。桑井が選手を引退したのは、21年8月。わずか3年の間にレフリーとして躍進した。
「ラグビーは男性のスポーツというイメージがあるなかで、女性がレフリーを目指すのは難しいことです。でも壁を一度壊してしまえば、きっとすぐに後が続く。五輪を経てリーグワンの舞台に立ったことで、女性レフリーの道を開くことができたと思います」
ラグビーを始めたのは、大学を卒業してからのことだ。小さい頃に長野五輪をテレビで見ると憧れ、10代は陸上やアイスホッケーなど、さまざまなスポーツを経験する。中京大学に進み、陸上の投てき選手として活動した。ラグビーとの出会いは大学の授業だった。
「こんな楽しいスポーツがあるのか、と。ボールを持って走っていいなんて、鬼ごっこみたいで。そしたらちょうど、ラグビーが16年のリオデジャネイロ五輪の種目に決まったんです。大学の先生から『背が高いし、スピードもあるから、やってみたら?』と勧められ、今挑戦しなかったら後悔すると思って決意しました」
本格的に始動し、ラグビーがいかに大

変なスポーツであるかを痛感した。
「走り続けるのも、ぶつかって倒れて起き上がるのもしんどい。アイスホッケーなどは、途中でけこう交代できるんです。ラグビーはどんどん苦しくなって、その苦しさすらも楽しく思えてくる、という感じでした」
五輪までの4年、まさに「死闘」というべき練習の日々が待っていた。
「朝、午前、午後、夜と、一日に何回も練習があります。寝て起きて食べて練習して……を繰り返すうちに、今が朝なのか夜なのかもわからなくなってくるんです。最後の年は、年間280日くらいが合宿。もちろん合宿以外の日は練習があります」
迎っていた五輪の会場で、試合前、喜びや緊張、興奮が込み上げて鳴咽した。リオ五輪後、次の東京五輪も目指したが、コロナ禍で開催は延期に。望みを捨てず、工夫しながら練習を続けるも、21年、代表選考に落選して引退を決める。その時すでに、次なる目標を定めていた。レフリーとして、3年後のパリ五輪に出場することだ。
「ラグビー協会からレフリーという選択肢を最初に伺ったのは、20年の3月でした。翌年、引退にあたってセカンドキャリアを考えたい時、何かやるなら本気でやりたいと思った。それで、今私のレフリーコーチを務めてくださっている方に、『3年で五輪に行けますか?』と聞いたんです。とんでもない質問だったと思いますが、『不可能ではない』と答えてくれた。そ



2025年1月、レフリーを務める桑井(写真提供: ジャパンラグビーリーグワン)



デザイン画を描く様子(写真提供: 吉永さん)



タイルに絵付け(写真提供: 吉永さん)

培ってきたコミュニケーション能力が、ここで発揮された。
「タイルの色も形も今までにないものばかり。工場の人に『こんな色は出せないよ!』と言われて、現場と工場を行ったり来たり……。大仕事で交渉を重ね、自信がきました。どんな現場が来ても怖くないと思えるようになりましたね」
そもそも、日本でタイルのデザイン、制作、絵付けなどを一貫して行う職人は白石と吉永の他に見当たらないという。「私のようにデザインや絵付けをするのであれば、働き方も広がります。きっと、今ある仕事や働き方がすべてではありません。職人の世界で女性が活躍する可能性はさまざまにあると思います」

吉永美帆子 Mihoko Yoshinaga
1979年、東京都生まれ。武蔵野美術大学油絵学科卒業。画家として活動したのち、2013年、タイル職人の白石普に弟子入り。17年、白石とともに特注タイルの株式会社Euclidを設立。同社でタイルの絵付けを担当するほか、施工も行う。2級タイル張り技能士。

画家からスタートした異色のタイル職人 ●タイル職人 吉永美帆子さん

建物の外壁や玄関、床、浴室などにタイルを施工するタイル職人。2020年の国勢調査によれば、全国に2万5千人弱いて、そのうち女性は2%ほどだ。
「2%もいるなんて驚きです。現場ではほとんど女性に会ったことがありません」
そう話すのは、10年ほどタイル職人として働く吉永美帆子。職人を志したのは30代半ばで、異色の経歴を持つ。
「美大で油絵を学んだ後、画家として活動していましたが、それだけでは生計が成り立たず、ウェブ制作の仕事をしていました。でも、その状態が中途半端に思えて、当時すごく嫌だったんです。母が34歳で亡くなっていたので、自分が34歳を迎える年に人生を見つめ直し、このままでは駄目だと一念発起しました」
絵を描き始めたきっかけを振り返ると、ヨーロッパの壁画への憧れがあった。外壁に使われるタイルに惹かれ、インターネットで調べるうち、タイル職人・白石普のホームページに行き着く。白石はタイルを張るだけでなく、オリジナルタイルのデザイン、制作も行う異色の職人だ。イスラムの幾何学モザイクに魅せられて、モロッコの工房で修業。モスク建設に携わった後、日本で「美術タイル」

の分野を独自に切り開いていた。「これだ!」と思って弟子入りするも、施工するのは、男性しかいない建設現場。想像以上に厳しい環境だった。
「それまでは絵を描いていただけですから、体力なんてありません。セメント袋は一つ25キロで、男性は一度に2、3袋を抱えられますが、私は1袋しか持てない。当然、トイレも女性用はありませんでした。工事現場用の手袋や安全靴も、女性が使える小さいサイズはほとんど売っていないのです」
絶対にタイルを自分の仕事にするという強い意志のもと、現場にしがみついた。その場で役に立つ人間かどうかは、佇まい一つで周囲に伝わってしまうという。
「ただでさえ女性は目立ちますから、ポーズと立っていたら『お姉ちゃん、邪魔なんだよ!』と怒られてしまいます。好印象を持ってもらうために、車を降りる瞬間から「現場モード」の自分を作り、大きな声で挨拶する。どんな作業着を着るかも現場ごとに考えます。汚れているほうがいいか、きれいなほうがいいか。あまりピカピカだと、新人に見えてしまう。男性がよく着ているつなぎの作業着はトイレの時に不便ですし、汚れても



東京都品川区中延にある「隣町珈琲」で自身がデザイン、絵付け、施工したタイル(撮影: 塚原沙耶)

織座 scorpio 10月23日~11月21日 ★ 食生活 睡眠時間を見直し自分を取り巻く環境を整えて! メンタルヘルスをケアし、メンタルをケアして、くくなる癖や酷使されてくる感覚を手放し、くせ。

天秤座 libra 9月23日~10月22日 ★ 適度な距離感でバランスを取った人間関係に取捨選択の時期到来。八方美人的なコミュニケーションは控えめに。14日の月食を境に人間関係のしがらみも自然と解ける予感。

NORTHERN TERRITORY

“ウルル”の自然が生む芸術 砂漠の真ん中で神秘のアート体験

オーストラリアが誇る絶景スポット「ウルル」。この場所は、先住民アナングの聖地にして、多くの旅人が憧れる絶景のパワースポットとしても知られている。地球のエネルギーを存分に感じられるこの地では今、先住民の物語を紡ぐ天空ショー「ウィンジリ ウィル」が展開中だ。圧倒的なアート体験を目指して、さあ出かけよう。

text: Jun Makiguchi



© Voyages Indigines Tourism Australia

Wintjiri Wiru ウィンジリ ウィル

※土地の管理者であるアナング族は、カルトゥカジャラからウルルまでのマラの物語を所有しています。彼らのストーリーを共有するために、ラムス社はドローン、光、音を使った芸術的なプラットフォームをデザイン、制作し、没入型ストーリーテリング体験を作り出しました。

5億5千万年前の地球の姿を今に伝える「ウルル」

オーストラリア大陸のほぼ中央、赤土が広がるノーザンテリトリーに鎮座する世界最大級の一枚岩「ウルル」。かつてはエアーズロックとも呼ばれ、「地球のへそ」の愛称でも知られる有数の景勝地だ。地上348m、周囲約9.6km、地下およそ6kmまで続いていて、見えているのは約5%に過ぎないとも言われている。「ウルル」は約5億年かけて現在の姿になったという。「ウルル」があるのは、世界複合遺産「ウルル-カタ・ジュタ国立公園」内。土地の所有者は先住民・アボリジナルの人々で、この地で3万年前から暮らしてきたとされ

る世界最古の先住民、アナングの人々だ。実際に「ウルル」を目にすると、アナングが畏怖の対象とし、ここを聖地としたのも当然だと感じる。青空と鮮烈なコントラストを成す真っ赤な大地から、力強く隆起した姿は、想像以上に神々しく、その圧倒的な存在感と神秘的な姿で訪れた者を一瞬にして魅了してしまう。地球のエネルギーを体感できる、まさにパワースポットなのだ。

先住民に語り継がれるストーリーを 夜空に描く。圧巻のスペクタクルショー

アナングの人々の文化は数千年前から途切れることなく続く、現存する世界最古の文

化のひとつとされている。人類の遺産でもある彼らの文化を、「ウルル」を舞台に紹介するのが、2023年に始まった映像スペクタクル「ウィンジリ ウィル」だ。現地語で「地平線まで続く美しい眺め」を意味するプログラムは、アナングと深く結びつく「ウルル」と36個の奇岩がつらなる「カタ・ジュタ」の両方を臨む場所に造られたオープンエアのシアターで堪能できる。1000台以上のドローンによる光とレーザー光線、音により、アニメーション化されたドラマを空と大地に立体的かつ幻想的に浮かびあがらせていく。描かれるのは、文字を持たず「伝えるべき人にしか伝えない」という風習を持つ先住民に何万年にもわたり伝わる、歴史や教訓の詰まった壮大な「マラ(創造)」の物語の一章。アナングの長老など10名が監修し3年をかけて制作された、この「アボリジナル・アートの進化形」は、ブッシュフードを使用したカナッペとオリジナルカクテルやオーストラリアワインも味わえる「トワイライトツアー」、ディナー付きの「サンセットディナーツアー」、日没後に出発する「アフターダークツアー」で鑑賞可能だ。一度訪れれば、「ウルル」が、自然と文化、人々の営みが一体となった特別な場所、地上に残る奇跡だとわかるだろう。この類い希なる美と神秘を心にいつそう深く刻むためにも、「ウィンジリ ウィル」を2025年のウィッシュリストに加えてみてはいかがだろうか。↑ツアーについてはこちらから



アボリジナル文化をさらに知るなら
体験ツアーがおすすめ



朝日の当たりはじめた砂漠に、流れるように映し出されるアボリジナル・アート

1日の始まりに至福のエンタテインメントを
広大な砂漠をキャンバスに、日の出に合わせてアナングの3人の女性アーティストの作品をレーザーと音と光技術を用いて再現するアートショー。「ウルル」と「カタ・ジュタ」を望むシアターから先住民の象徴的造形を楽しむ。シグネチャーチャイティーと地元の朝食付き。

「サンライズ ジャーニー」
所要時間: 約2時間
料金: 大人A\$125 子供A\$75



© Voyages Indigines Tourism Australia

抗酸化作用をはじめとする健康効果が注目されているブッシュフードの多彩なメニュー

先住民伝統の食文化を優雅に味わう
エアーズ・ロック・リゾート内の5つ星ホテルで味わうハイデュー。数万年にわたり先住民が利用してきた、レモンマートルなどの伝統食材「ブッシュフード」を厳選し特別メニューに。受賞歴を誇る紅茶や豪州産スパークリングワインなどを合わせて、食から伝統文化を味わえる。

「オーストラリアン・ネイティブ・ハイデュー」
場所: セイルズ・イン・ザ・デザート ホテル
時間: 14:00-16:00
(所要時間: 約1.5時間)
料金: 大人A\$75〜、
子供(12歳〜12歳)A\$45〜



協力: ノーザンテリトリー政府観光局

CLUB TOURISM

広大なオーストラリア、都会の洗練と大自然の神秘にふれる旅 神秘的な一枚岩「ウルル」で心を潤して

オーストラリアの異なる顔を持つ3都市を巡るこの旅は、あなたに新たなインスピレーションをもたらしてくれる可能性も。特別なホテルでの滞在や、自然に囲まれながらのディナーなど、特別感を大切にしたいプランが魅力。今、オーストラリアの新たな魅力に触れてみては?



エアーズ・ロック・リゾート

旅のスタートは、世界最大級のサンゴ礁が広がるグレートバリアリーフの玄関口、ケアンズ。エメラルドグリーン的大海や、カラフルな熱帯魚など、まるで別世界。さらに、壮大な熱帯雨林が広がるキュランダ村では、キュラン

ダ列車を楽しみながら自然の豊かさを体感できる。次に訪れるのはオーストラリアを代表するモダンシティ、シドニー。世界遺産のオペラハウスや、シドニーハーバーブリッジの絶景を堪能。シドニーから列車で西へ約2時間行くと、雄大な自然あふれる世界遺産「ブルーマウンテンズ国立公園」も楽しむことができ、都市と自然を満喫



ウルル



キュランダ列車



シドニーの街とオペラハウス

お問い合わせ先: クラブツーリズム 050-3649-8551 月〜土: 9:15〜17:30 日・祝日休業 ※詳細はこちらのカタログにて→
※上記掲載ツアーはこの広告でのお申し込みは受け付けておりません。パンフレットの請求は上記の連絡先までお問い合わせください。



1



2

1.インフィニティプールから望む日の出。その美しさは息をのむほど 2.各ヴィラにあるプライベートプール デイベッドでゆっくりしたい 3.敷地内のオーガニックガーデンで栽培された野菜やハーブを使用した料理。水の自家生産にも取り組んでいる 4.トリートメントを受けるスパの個室は、開放感がいっぱい



3

Travel Beauty Journey

美しさが目覚める旅へ

旅慣れた人をも魅了する、「美に効く」リゾートをご紹介します。豊かな自然の中に佇む、プライベート感たっぷりのタイの隠れ家です。特別な時間。究極のリトリート体験で、身も心も浄らかに。

text: Mayumi Kurata



4



各ヴィラには、GEM(ゲスト・エクスベリエンス・メーカー)というスタッフが付き、敷地内はカートで移動する

六つの感覚を研ぎ澄まし、自分と向き合う自然派ステイ

プーケット島の北側にあり、大小さまざまな島が点在する景勝地、パンガー湾。そこにある小さな島の一つ、ヤオノイのなだらかな斜面を利用して建てられた56棟のヴィラが、「シックスセンスズ ヤオノイ」だ。手つかずの自然が色濃く残る美しいロケーションの中、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚、そして直感という六つの感覚を研ぎ澄まし、自分と向き合うという「シックスセンスズ」ならではの過ごし方がある。なかでも私が体験した「Boost Your Immunity」は、独自のヘルスチェックにより一人一人の潜在的な問題点を見つ

「Six Senses Yao Noi」
住所: 56 Moo 5, Tambol Koh Yao Noi, Amphur Koh Yao,Phang Nga 82160, Thailand
www.sixsenses.com

Beauty expert's Voice

「朝は鳥のさえずりで目覚め、日の出を見たり散歩をしたり。陽が落ちたら星空をぼーっと眺め、いつもより早く眠りにつく。自然のリズムと呼吸するように、太古の人々がしてきたであろう一日を送ることで、自分たちも自然の一部にすぎないということを再認識。ヨガや瞑想により内なる自分と向き合えば、謙虚さや感謝する気持ちが芽生え、魂レベルで浄化される。多忙で情報過多な時代を生きる私たちにとって、真のラグジュアリーとは、こういう時間を持つことだと思う」

Mayumi Kurata
約40年のキャリアを持つ美容ジャーナリストの草分け。「マリ・クレール」Web版の連載ブログ「倉田真由美のBeauty Life」をはじめ、女性誌などで執筆中。



5



6



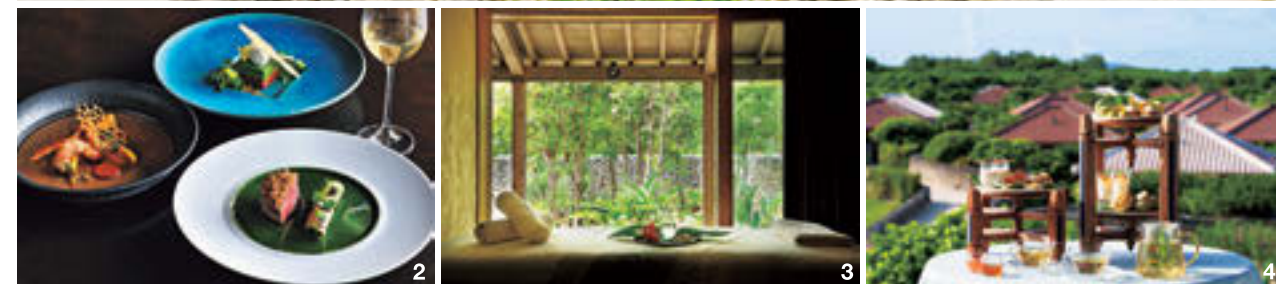
7

5.森で行われるヨガのセッションは、自然と一体化したような感覚になる 6.40の主要なバイオメーカーで心身の状態をチェックし、ドクターからアドバイスを受けるスクリーニング 7.ハーブボールを使ったトリートメントでディープリラックス

射手座sagittarius 11月22日〜12月21日★樂觀さからほれ落ちる独りよがりや相手の気持ちを理解することが今日のステップ。14日の月食では社会との繋がりが、仕事の分野で気づきあり。忘れていた案件がないか丁寧に見直しを!

「うりすん」の季節に訪れる「星のや竹富島」 ウェルネスの精神が宿る リゾートで五感を潤す

text: Jun Makiguchi



1.幸せを運ぶと伝えられ、緑のいい風とされる南風(バイカジ)が通る伝統的な造りの客室 2.自然環境や歴史が育んだ島特有の食文化と、フランス料理の技法や新たな発想を用いた美食 3.もずくやあおきなど島でしか売っていない海藻のマスクを使ったメニューもおすすめ 4.「見晴台」で、午後のひとときを。「命草アフタヌーンティー」は4月28日までの限定プラン。1日1組(2名まで)。公式サイトにて14日前まで受付

「星のや竹富島」

太陽の光を一身に受け、鳥の歌に耳をすませる。風に頬をなでられながら、波の音をゆっくりと聴く——。非日常に没する喜びが、到着した瞬間から体感できる「星のや竹富島」。ここはいつだってベストシーズンだ。なかでも、「うりすん」と呼ばれる、3月から5月にかけての島の初夏は、適度な雨が土を潤し、植物が育ち始める季節。屋外で過ごすには最適だ。

リゾートがあるのは島の東。約2万坪の敷地に、「竹富島景観形成マニュアル」に従って伝統を踏襲、2012年に誕生した。「星のや」のコンセプトは、「その瞬間の特等席へ」。土地の個性を育ててきた風土、歴史、文化に季節感をも織り込んだ各施設独自のテーマで唯一無二

の滞在へと誘う。「星のや竹富島」が掲げるのは「ウツグミの島に楽土」というコンセプト。「ウツグミ」とは一致協力を意味する島の言葉。知恵を出し合い協力することで豊かな文化を育み、美しい自然環境を守ってきた島の人々が、生きるうえで大切にしている基本精神だ。まさに、島の暮らしがウェルネスを体現。リゾートにも、伝統や文化、自然環境を共に後世へと繋ぎ、幸せな時間と空間を島の一品として体現したいという、いわば「島ウェルネス」の精神が宿る。

そう感じられるもてなしの心は随所に。琉球赤瓦の戸建客室、白砂の路地や琉球石灰岩の石垣、楕円のプール、小高い丘の「見晴台」などが、色鮮やかに咲き誇る草花と調和。視覚からもゆったりとした

都会で忙しい日々を送る現代人にとって、ウェルネスへの一番の近道とは、美しい自然の営みに身を委ね、気ままに過ごす自由を持つことかもしれない。そんな非日常が迎えてくれる「星のや竹富島」。思い立った時こそがベストシーズンだ。



隣接する浜で波音に集中するひとときも格別

もっと癒やされたいなら、 本来の自分を取り戻す 「島時間養生」を

美しい自然環境や固有の文化に囲まれ、「今、この時」に集中することで、時間や予定に縛られたストレスフルな環境や思考から離れる3泊4日のプログラム。専属スタッフがサポートする島あそび・スパ・食事を心の赴くままに堪能。医師監修の「健幸脳理論」に基づき、雑念を取り払い、ストレスからの解放を目指す。はじめと終わりに、医師監修の「脳疲労度テスト」と「脳健康度テスト」を実施。心身の変化について数値でも知ることができる。

「島時間養生」

料金: 1名 ¥187,550
(税・サービス料込、宿泊料別)
宿泊: 3泊4日
含まれるもの チェックリストの実施、スパトリートメント3回、朝食3回、昼食1回、夕食3回、島の自然や文化を活かした体験、客室の飲み物とおやつ
定員: 1日1組(1名) 予約は14日前まで受付



食事前には命草を使った塩作りで食欲を刺激

こんな風に五感でその土地と繋がることで、ここにしかない贅沢を手に行ける「星のや竹富島」への旅。それはまさに、心も身体も潤いに満ちる、特別なウェルネス体験となるだろう。



「星のや竹富島」

住所: 沖縄県八重山郡竹富町竹富1955
tel: 050-3134-8091 (星のや総合予約)
客室数: 48室
料金: 1泊 ¥147,000~
(1室あたり、税・サービス料込、食事別)
※通常予約は2泊より
https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/hoshinoyataketomijima/

HOKKAIDO Sanyoan



Travel Beauty Journey 美しさが目覚める旅へ

旅慣れた人をも魅了する、「美に効く」ふたつの宿をご紹介します。大地の恵みをダイレクトに感じられる北海道の「モール温泉」に、ウェルネス設備が揃う大阪のラグジュアリーホテル。心身をときほぐす、美のオアシスへと誘われて。

text: Kiriko Sano

大阪に最先端ウェルネス施設を備えたホテルが誕生

2025年春、大阪に地上20階、全221室のラグジュアリーホテル「パティーナ大阪」がオープン。コンセプトのひとつが「ウェルビーイング」。全客室にヨガマットを備え、各フロアの角部屋には外気を取り入れられる広いバルコニーを設置。注目は、スパ&ウェルネス施設の「パティーナ・ウェルネス」。110〜180℃の低温環境に1〜3分ほど入る「クライオセラピー」や、酸素&水素

カプセル、特定の波長の光を照射する「フォトバイオモジュレーション」、赤外線直接体を温めるサウナを完備。これほどまでにウェルネス&リカバリー設備が充実したホテルは「パティーナ大阪」だけ。ロジカルな「積極的休養」で、満ち足りた心身と健やかな美しさが手に入る。

4.ラグジュアリーホテルを手がける、カベラホテルグループの日本第1号店は大阪城公園を望む抜群の眺望 5.スパ、ジム、プール、スタジオ、メンバー用ラウンジを完備 6.フェイシャルとボディのメニューが揃うスパは全6部屋

Beauty expert's Voice

「旅先ではただ「ゆったりと過ごす」という選択になりがち。リカバリー力を高める先進の「ウェルテック機器」でケアをするという発想は、まさに新しい「休み方」。スパとのコンビネーションで、身体とじっくり向き合い、休み明けは新たな自分に会えそうな予感」

Kiriko Sano

ビューティエディター・ライター。ジャンルを問わずさまざまな美容記事を手がける。旅スタイルは世界遺産巡りを経て、近年は「のんびり休日派」にシフト。



「パティーナ大阪」

大阪府大阪市中央区馬場町3-9-1
tel: 06-6941-8888
客室数: 221室
料金: 1泊 ¥93,500~
(1室あたり、税込み、サービス料・宿泊税別、食事別)
https://patinahotels.com/ja/osaka

Beauty expert's Voice

「全11室というほどよい規模感。すべての客室に源泉掛け流しの檜風呂がついているため、思う存分に温泉を楽しめるのがポイントです。あらゆる温泉のなかでも、血流を促し代謝を活性化させる美肌効果という点で、モール温泉には突出した魅力があります。モール温泉に豊富に含まれている植物性の「フミン酸」は、栄養豊富な発酵成分といったイメージ。天然の「ボディ美容液」のようなものだから、お風呂あがりは軽くタオルで押さえる程度にどめ、そのまま浴衣を着て肌に温泉成分を浸透させるのがおすすめです」

Eri Kataoka

ビューティエディター・ライター。欧州やアジア、国内への旅がライフワーク。国内の温泉宿を巡り、グルメ情報に精通。海外のホテルズバにも詳しい。

山羊座capricorn 12月22日~1月19日★自分が無理することなく採配できる居場所を見つけてみよう。攻めるより、守り、労る。休む自分を許せるように意識の矛先の変化を。兄弟姉妹や子どもの関わりも改善する時期。

Beauty: Personalized Beauty

私に寄り添う“パーソナライズ美容”

text: Kiriko Sano Satsuki Tadokoro

多様性の時代となり、近年はパーソナル型的美容がトレンドに。肌質や体の悩みに寄り添うオーダーメイドのケアが導くのは、自己ベストの美しさ。プロの視点による“美の近道”で、いつものお手入れにプレイクスルーを。

「普段のケアに迷いが出てきた」。そんなときに役立つのは、プロの目や専門的な機器による的確な診断。「エフェクティム」は、肌測定を基に美顔器をチューニング。自宅で美容施術のように本格的なリフト

ケアができる。インナーケアなら、「ルポア エクラ」へ。フランス式の植物療法を基に、専門家が体調や悩みに合わせたハーブティをブレンド。よりハイエンドなケアなら、「THE HUNDRED ロンジェビティハウス」。古今東

西のエイジングケアの叢智を集めた施設では、医療、伝統療法、食を融合したホリスティックケアを実現。いずれも、プロが考える美しさへの“最短距離”を示してくれるから、効率よく手応えが感じられるはず。



1. “美の検診”で未来のビューティを体感

未来型のサービスが資生堂の研究施設内に誕生。仮想体験ののち、研究機器で肌だけでなく、鼻の骨格、歩き姿、味覚や嗅覚など、13の項目を測定。味覚の項目では、お茶を飲んだときに感じたことをアンケートに記入し、お茶に対する感性傾向を測る。各項目の測定データを基にビューティカルテを作成し、未来の姿を可視化。さらに研究員による生活習慣やスキンケアのアドバイス、栄養学に基づいたスイーツの食体験や肌トリートメントが受けられる。¥30,000 所要時間：3時間

「Shiseido Beauty Diagnosis Lab」
Shiseido Beauty Park In
神奈川県横浜市西区高島1-2-11
https://shiseidobeautyPark.shiseido.com/

2. 肌にあわせた波形でケアできる美顔器

コスメと美顔器のコンビネーションで、ピンと引き上がったリフト感へ。5台のカメラによる本格的な3D肌解析により、18項目の肌測定を実施。解析結果に基づき、肌状態に応じて、わずか数秒で美顔器の波形をカスタマイズしてくれる。測定はSHISEIDO THE STOREをはじめとする、全国の「エフェクティム」取り扱い・店舗の一部で順次実施。エフェクティム スムース ビューティー リフトニング アクティブター（美顔器）¥110,000、同 スムース リフトニング セラム 30mL ¥16,500 /ともにエフェクティム

「SHISEIDO THE STORE」
東京都中央区銀座7-8-10
tel: 03-3571-7735
https://www.effectimbeauty.com/

3. ハーブで体調を整えて、ヘルシーな美しさへ

日本における漢方のように、フランスではハーブの薬効が認められ、日々の体調管理や美容に活かされている。本場のフランス式植物療法を体験できるウェルネスショップが「ルポア エクラ」。専門家によるハーブティのブレンドは、肌や睡眠、ストレスといった、現代女性ならではの悩みにフォーカスしたオリジナルの配合を提案。他にも、よもぎ蒸しなどのサービス、コスメブランド「Waphyto」や精油、フェミニンケアグッズのショッピングが楽しめる。パーソナルハーブブレンド 100g ¥8,500(カウンセリング30分)

「ルポア エクラ」
東京都目黒区上目黒1-11-7 1階
tel: 03-6416-9548

4. 再生医療×伝統医学×日本の食文化の コラボ施設が、銀座に誕生 「THE HUNDRED ロンジェビティハウス」

人生100年時代、100歳まで健康的に元気で生きられる世界の実現を目指して、銀座・松屋通りの一角に生まれた「THE HUNDRED ロンジェビティハウス」。そこは、“先端的な再生医療”“古来の伝統医学”“伝統的な日本の食文化”という3つの柱を融合させたラグジュアリーな複合施設だ。再生医療とは、自家、または他家由来の細胞・組織を培養・加工し、失われた組織や臓器を修復・生成する治療であり、この分野のエキスパートである大阪大学大学院未来医療学寄附講座特任准教授の日比野佐和子医師が指揮を執る「THE HUNDRED CLINIC」が、ビルの5、6階に入る。幹細胞治療及び、幹細胞培養上清点滴などのメニューを中心に、オーダーメイドによる治療プランを作成。内側から健康と美を引き出す力を、先進医療でサポートする。

中医学も学び、アロマセラピーの資格や鍼灸の大学で教鞭を持つ経験があり、伝統医療への造詣も深い日比野先生にうかがった。「心も体も健康で、若々しく長生きするための“生活の処方箋”を提供したい。医療の根本である食や東洋医学も連携させた、トータルな施設を作りたいという長年の夢が実現しました。クリニックでの治療は、全てにおいて厳正な安全基準を確保したエビデンスに基づくものです。銀座から、世界に向けて最新の先進医療をサイエンスとして発信していきたいと考えています」



ネパールの医療資格を持つアーユルヴェーダの専門家が常駐し、個々に最適なトリートメントプログラムを処方



クリニックにはゆったりと施術を受けられる個室を複数用意。気鋭のアーティスト達の作品も飾られる。手術室や培養室など、必要な設備も完備。脂肪由来幹細胞上清点滴(¥275,000)、NMN点滴(¥88,000)など



発酵の技法を極めた滋養果「徳山酢」店主が監修した、発酵料理はもちろん、体に良い多彩な日本料理を提供

THE HUNDRED 統括院長
日比野佐和子医師
アンチエイジング医療における第一人者。最先端の遺伝子検査を含む予防治療、ゲノム栄養学、分子栄養学指導。近年では美容医療でも注目を浴びているプラセンタ療法や幹細胞上清を用いたエクソソーム治療、がん治療(免疫療法)など多岐にわたる治療を行っている。

「THE HUNDRED ロンジェビティハウス」
東京都中央区銀座4-4-2 5-9階
tel: 03-6264-4782
https://thehundred.jp

Beauty: Spring Skincare Guide

輝く肌で春を迎える

text: Kiriko Sano

寒いなかにも、春の訪れを予感させる季節。肌を目覚めさせ、より輝きを高めるための新作スキンケアが続々登場。基本のブライトニングとUVケアに加え、立体美を叶えるエイジングケアがずらりと出揃った。

brightening 肌悩みを忘れさせる 最新ブライトニング



CHANEL

新ブライトニングラインが誕生。極めてみずみずしい美容液ローションは、世界初の技術で肌を3D解析し、色素沈着の過程を解き明かすことで、輝きのある肌を目指す処方を実現している。エクラ プルミエブライト ミルキー エッセンス 100mL ¥17,820 /シャネル

SK-II

表皮の層の乱れが、肌の「くもり」印象を繋がることに着目した美容液。ブライトニング、シワ改善、肌荒れケアで、圧倒的なオーラを手に入れて。ジェノプティクスインフィニットオーラ エッセンス [医薬部外品]30mL ¥22,000 /SK-II

CLARINS

もやのように広がる薄い点在ジミのメカニズムを解析。肌の色ムラのもとやメラニン、黄ぐすみのもとに働きかけ、顔全体を均一な「透き通る」印象へ導く。ブライトプラスブライトニング DST セラム [医薬部外品]30mL ¥13,530 (2月28日発売) /クラランス

ALBION

肌の明るさとハリ感。2つのファクターに関わるコラーゲンを発見。晴れ晴れとしたクリア感と、濃とした立体的な顔立ちを目指す先行型乳液。アンフィネスブライトニング コンセントレート ミルク [医薬部外品]200g ¥7,700 (3月18日発売) /アルビオン

HAKU

名作ブライトニングの10代目は、世界で初めてシミをリアルタイムで解析し、その成長過程に着目。頑固に居座るシミに働きかけ、先回りケアで均一な肌色はすぐそこに。HAKU メラノフォーカスV [医薬部外品]45g ¥11,000 /資生堂



DIOR

ニキビを防ぐ効果が加わり、5つの効能へとパワーアップ。キー成分である、エーデルワイスエキスのメラニンへのアプローチも強化され、新雪のような肌印象へ。ディオール スノー エッセンス オブライト クリーム [医薬部外品]50mL ¥17,600 /パルファン・クリスチャン・ディオール

aging care ハリ&引き締まりを叶えるエイジングケア



LANCÔME

美容医療にヒントを得て、ローズ由来のエイジングケア成分「PDRN™」を配合。肌の“健康寿命”を延ばす発想で、若々しい印象を底上げ。3段階に変化する極上のテクスチャーも魅力。アプソリュ ザ ソフトクリーム 30mL ¥27,500、60mL ¥48,400 /ランコム

SHISEIDO

世界で初めて、老化細胞を除去することに成功。肌免疫に関する新知見を搭載した5代目は、エイジングの“本丸”にアプローチする。健康な肌は美しい、という事実を日ごとに体感。SHISEIDO アルティメーション™ ハワライジング セラム 50 mL ¥15,180(3月1日発売) /SHISEIDO

GIVENCHY

ブランド創設者、ユベール・ド・ジバンシィのシルエットの美学をスキンケアへ。新シリーズのリフト美容液は、コラーゲンに着目。ゆるみのない、洗練された立体顔へと導く。モダンなボトルにも注目を。スカルプチュラル セラム 30mL ¥18,150 /パルファム ジバンシィ

uv care 守って攻める、UVケア



DECORTÉ

リコピン、ベータカロテンでUVケアできる機能性表示食品が日本初登場。紫外線刺激から肌を守り、みずみずしさをもたらすサプリメントは、1日4粒飲むだけで、より手厚いUV対策が可能になる。コスメドコルテ サンシエルトアー インナーホワイトプロテクション 120粒 ¥6,480 /コスメドコルテ

POLA

年々過酷さを増す、夏にかけての肌環境に対応。日差しの熱を利用してうるおいを届け、かつ汗によってUV膜を強化する。下地としても使え、メイクの上から重ね塗りもOKの優秀UVクリーム。ホワイトショット セラム UV [医薬部外品] SPF50+ PA++++ 45g ¥7,150 (3月1日発売) /ポーラ

Contents of 10 areas

10のエリアで様々なイベントやプログラムが開催!



丸ビル1階マルキューブで行われるサステナブルなファッションイベント「LIVE STOCK MARKET」

「日本橋エリア」では、伝統技術の有松・鳴海紋にルーツを持つ「suzusan」のワークショップなどクラフト体験を多数予定



羽田空港第2ターミナル 5F FLIGHT DECK TOKYO に、伝統工芸品が日本各地から集結。伝統工芸の職人によるワークショップも開催



「ROPPONGI STREET THEATER #07」 「アリとキリギリスと」ひびのこつえ×KUMIX 平位蛙×RIHITO×小野龍一

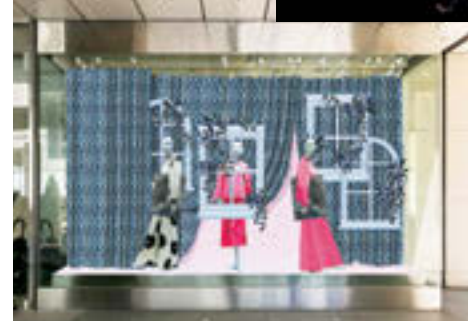


Photo: Charlie Sugano

「松屋銀座」では日本有数のデニム産地の業者とコラボした展示やワークショップが行われる

Exhibition data
TCS 2025 (Tokyo Creative Salon 2025)
 開催期間: 3月13日(木)～23日(日)
 開催エリア: 丸の内、日本橋、銀座、有楽町、赤坂、六本木、渋谷、原宿、新宿、羽田
 メイン会場: 東急プラザ原宿「ハラカド」
 主催: 東京クリエイティブサロン実行委員会
 公式HP: <https://tokyo-creativesalon.com/>
 公式Instagram: <https://www.instagram.com/tokyocreativesalon/>
 公式X: https://twitter.com/tokyo_c_s

MARUNOUCHI

●丸の内
「CONNECTING」をテーマに参加型・体験型のコンテンツを

デッドストックを生き返らせる「LIVE STOCK MARKET」、岩手県大槌町の「刺し子」を使ったプロジェクト「SASHIKO GALS」や「ザ・コンランショップ」による都会の安らぎをコンセプトにした展示と販売、スーツファッションのイベント「背広散歩」など、楽しみながら体験できるコンテンツが盛りだくさん。

YURAKUCHO

●有楽町
クリエイティブを刺激する文化の交差点

「CrossY(クロスシー)」というテーマを掲げ、ヒトやモノ、コトが交わりながら、新たな価値を創造する街「有楽町」を表現。交差するランウェイを舞台に、ファッションの変遷をたどったり、多様性に答えたりするショーを開催する。また次世代を担うアーティストたちによる音楽ライブやアップサイクルイベントなども注目。

AKASAKA

●赤坂
歴史を受け継ぎながら、変化し続けるオトナな社交場

「FILTER」をテーマに掲げ、受け継がれる街の文化と、オトナな社交場としての魅力を、エンターテインメントとして楽しめる内容に。街全体を舞台とし、コンテンツとコラボした街回遊イベントや文化展示を実施。商店会の活気や街が一つになり、様々なクリエイションによる新たなAKASAKAの表情を見ることが出来る。

SHIBUYA

●渋谷
渋谷のヒト・モノ・コトを「CULTIVATE」

「CULTIVATE」をコンセプトに、12年目を迎える「渋谷ファッションウィーク」が、渋谷の街を舞台に各所で共創企画を展開。特別なショッピング体験や渋谷各所でのアート展示、アーティストコラボレーションによるシテイドレッシングなど、「探索」を楽しめるコンテンツが多数予定されている。

SHINJUKU

●新宿
多様な価値観が混在する刺激的な街

学生たちが制作したリメイク作品のファッションショーや、新宿の地場産業である「染物」の製品販売、体験イベントを開催。「新宿高島屋」では、北海道で地球に優しい家具づくりを追求する「北の住まい設計社」と、時代や場所を超えて残る服作りを目指す「POSTELEGANT」による家具と服の展示販売も実施。

NIHONBASHI

●日本橋
クラフトマンシップの精神が根づく、伝統と革新の街

日本橋に点在する手芸やクラフトを体験できるイベント、ワークショップを実施。老舗企業から新しい企業まで、様々な企業とコラボした周遊企画や著名アーティストによるモニュメントの設置なども予定されている。また、「日本橋高島屋S.C.本館」の建物がSAKURAピンクにライトアップされる演出も必見。

GINZA

●銀座
街自体がブランド力を持つ、気品漂う都会の象徴

「GINZA QUEST」をテーマに、街を回遊できるイベントや体験をラインナップ。無料で参加できる謎解き企画やファッションスナップ撮影を実施。「松屋銀座」では福山デニムや井原デニムといった三備地域のデニム業者とコラボした展示やワークショップなどを行う。また、「GINZA SIX」では本格的な音楽体験のイベントも予定。

ROPPONGI

●六本木
様々な才能が集い、交差する街

「街がデザインとアートと人をつなぐ」がテーマ。東京ミッドタウンの建築やパブリックアートが舞台に変身する「ROPPONGI STREET THEATER #07」や、被災した石川県・能登の古材と古道具に宿る美を未来へ繋ぐ「のどのいえー里山が紡ぐ、古道具の記憶ー」、デザインに関連するトークイベントなども開催される。

HARAJUKU

●原宿
ストリートから派生するトレンドの発信地

「原宿のカルチャーをストリートから再感する」がテーマ。多数のファッションブランドが参加する「トートバッグ スタンプラリー」では、集めたバッヂでオリジナルトートをカスタマイズできる。また、世界的なストリートカルチャーの発信地「裏原宿(ウラハラ)」でストリートアートやパフォーマンスも開催予定。

HANEDA

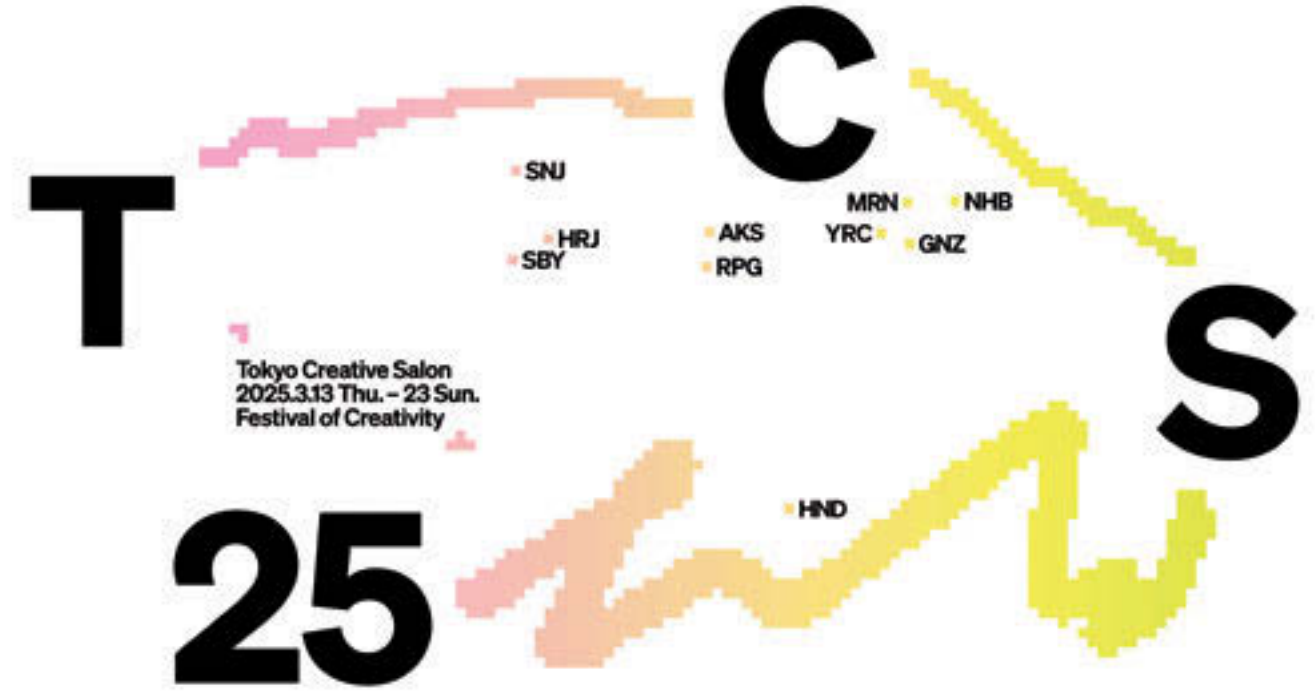
●羽田
世界中の人と文化が交差する羽田から、夢と希望を乗せてクリエイティブを発信

「HANEDA SKY」をテーマに掲げ、世界とつながる「空」をキーワードに、ファッション、デザイン、サステナビリティに焦点を当てた多彩な展示に加え、日本の伝統工芸のワークショップや交流型サロンも開催。東京、そして日本の「空の玄関口」である「羽田空港」だからこそ実現できる、クリエイティブな取り組みを発信。

Tokyo Creative Salon 2025

国内最大級のクリエイティブの祭典が今年も開催!
「東京クリエイティブサロン2025」

東京を世界一のクリエイティブシティへと導くことを目指し、毎年3月に開催されるクリエイティブの祭典「Tokyo Creative Salon」。6回目を迎える今年も、東京の10のエリアを会場に、見逃せないイベントやプログラムが満載だ。



QUEST BASE

今年の拠点「ハラカド」に
メイン会場「QUEST BASE」が登場!



イベント開催中、まず足を運びたいのが、東急プラザ原宿「ハラカド」4階ハラッパに設置されるメイン会場「QUEST BASE」。ここでは、各エリアの紹介の他、今年初の取り組みとして、新たな才能を発掘するコンテスト「TCS Open

Call 2025」の受賞作品も展示される。さらに、様々なクリエイティブを体験できるトークイベントなども行われる予定。また、全エリアの情報が集約された「TCS公式タブロイド」もここで配布される。



昨年の「Tokyo Creative Salon 2024」開催の様子

